

福井工業大学

後援会会報

Fukui University of Technology 2013

平成25年9月15日発行

47

福井工業大学
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号
電話(0776)29-7864
FAX(0776)29-7891
E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp



特集

・福井工業大学における
就職支援の現状と最近の就職事情

・羽ばたく 学生たち

- ・硬式野球部 大学野球選手権出場
- ・ロボカップ世界大会
- ・鳥人間コンテスト
- ・小原ECOプロジェクト活動

保護者キャンパス見学会及び
懇談会のご案内 [14ページ]

参加お申込期限は9月30日(月)です。





ご挨拶

福井工業大学後援会

会長 谷川 博也

猛暑の夏も暦が進むにつれ、秋の氣配の深まる今日、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

冒頭にあたり、先般開催されました平成二十五年福井工業大学後援会定期総会に於いて役員改選の結果、会長職をお引き受けることになりました事をご報告申し上げます。皆様の何かお役にたてます様に精進してまいりませう。どうぞ皆様方のご協力、お力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

本年度も後援会では、クラブ・同好会活動、就職活動に対し、側面的ではございますが支援を行っております。後援会活動の基軸となります地区懇談会であり、本年度より従来十七会場で開催を名古屋市、大阪市、高岡市の三会場に集約し1つの会場ごとの参加者を増やして実施内容を充実させようという試みで開催いたしました。大学からは学長、副学長、各学科専攻の先生方、職員の皆様、同窓会の皆様には大変お忙しい中を出向いて頂き、親切、丁寧なそして心暖かい懇談会を開催する事ができました。誠に感謝申し上げます。又各地区の理事の皆様にも多大なご協力を賜りました。本当に

ありがとうございます。

この地区懇談会では本学の教育体制、就職、資格の支援体制の紹介、同窓会の活動報告、そして先生方との個人面談等、内容は大変充実したものであると思います。その中で皆様のご心配であるご子息の生活面等も聞く事もでき、保護者同士での情報交換で少しでも安心できたのではないかと感じております。

今年の参加人数は179名(対象学生数)でありました。ご参加の皆様にはアンケートでもほとんどの方が参加してよかったとお答えいただきました。内容は充実したものの会場減により遠方の為逆に参加できないという事に皆様のお声を聞き、今後の課題とさせていただきます。つきましては、本会報にてご案内しております『保護者キャンパス見学会及び懇談会』にご確認の上是非ともこの機会にご参加頂ければ幸いです。当日は大学祭の日程と合わせた企画となっておりますので、ご案内の要項にそって沢山お申し込み頂きます様お願い申し上げます。ところで私共を取り巻く環境は東日

本大地震の傷跡深く、その上今年には異常な大雨による水害に見舞われまし。それでも各地では復興に向けて必死に生きておられる姿を見る時日本という国民性は本当に素晴らしいものと思います。アベノミクスによる経済成長、上向き傾向ではあるものの、まだまだ行き渡っていないのが現状です。これからはありますが、今こそ本学の建学の精神にもあります様に一人一人が国を愛し、節度ある人格形成し日々努力して何かに貢献できる事を小さな事からでもやっていく時代ではないかと思えます。こういう時代の中福井工業大学では、新しい時代に対応できる様に教育、就職活動支援においても学生達の為に日々進化して新しい試みも展開しております。GLOCALという新しい教育プログラムもその一つであります。先生方、職員の方々には保護者の一人として心から感謝申し上げます。最後に多幸を祈念申し上げます。皆様にお会いできる日を楽しみにいたしております。

表紙の写真

本学学生がえちぜん鉄道の車両を飾りつけた「七夕アート電車」が六月末に完成、七月七日まで勝山永平寺線・三国芦原線で運行されました。

地域参画型イベントの一環として、五年前から実施しており、デザイン学科の学生を中心に約三十名が五月中旬より準備を進めてきました。

テーマは「和」。白い糸を固めた透け感のある大小の球を竹にぶらさげ、織り姫とひこ星を表した赤と青の球は離れた位置にあり、二人が七夕まで会えない切ない気持ちを表現していました。

実際に運行された車両に乗車した乗客は、普段とは違う車内をじっと見つめたり、飾りつけを写真に撮る光景も見られ、好評のうちに終了しました。



平成25年度 後援会定期総会 報告について



五月二十五日(土)午後一時から、福井キャンパスにて後援会定期総会が開催されました。
森島洋太郎学長の挨拶の後、当日出席した保護者、および欠席者の委任状が定数を満たしたことにより、総会は成立し、先に開催した後援会役員会にて承認されました前年度の事業・決算、並びに今年度の事業予定・予算、後援会役員の選出について報告を行いました。
その結果につきまして次のとおりご報告いたします。

記

- 一、平成二十四年度
事業経過報告の件
事務局より報告
【別記第二】のとおり承認
 - 二、平成二十四年度決算承認の件
事務局より報告
監事より監査報告
【別記第三】のとおり承認
 - 三、平成二十五年度役員改選の件
規約第六条により
役員選出
【別記第一】のとおり承認
 - 四、平成二十五年度
事業計画及び予算の件
事務局より説明
【別記第四、五】のとおり承認
- 以上

別記第1

平成25年度 福井工業大学後援会役員

会 長 兵庫県 谷 川 博 也

副会長 福井県 酒 井 保 典

副会長 静岡県 望 月 克 人

監 事 福井県 三 谷 一 晃

監 事 福井県 川 端 小百合

理 事	愛知県	中 村 正 幸
理 事	神奈川県	清 水 周 三
理 事	新潟県	吉 野 信 秀
理 事	大阪府	栗 林 歩 美
理 事	福井県	上 田 良 幹
理 事	奈良県	榎 谷 泰 治
理 事	岐阜県	西 誠
理 事	富山県	細 川 幸 恵
理 事	福井県	大 谷 真 亮
理 事	福井県	木 戸 誠

理 事	福井県	金 津 裕 之
理 事	静岡県	佐 藤 五 夫
理 事	福井県	松 井 章 江
理 事	愛知県	小 澤 伸 佳
理 事	福井県	松 本 恵
理 事	富山県	宮 本 啓 子
理 事	福井県	稲 木 康 浩
理 事	石川県	紺 谷 和 徳
理 事	福井県	竹 本 薫

理 事	新潟県	村 木 弘
理 事	高知県	久 川 真 弓
理 事	福井県	竹 内 宏 樹
理 事	福井県	山 本 隆 嗣
理 事	富山県	川 合 田 幸 枝
理 事	福井県	畑 中 毅 志
理 事	香川県	葛 岡 輝
理 事	福井県	下 山 田 広 志
理 事	滋賀県	今 庄 和 子

理 事	福井県	山 口 竜 也
理 事	大阪府	西 田 晴 彦
理 事	福井県	上 本 啓 介
理 事	滋賀県	萩 岡 直 樹
理 事	千葉県	松 田 良 子
理 事	福井県	湯 浅 英 雅
理 事	岐阜県	竹 下 克 則
理 事	兵庫県	安 井 修
理 事	和歌山県	西 山 浩 己

平成24年度 事業報告

月	主要行事	就職活動支援	クラブ活動支援
4	入学式 (4/5) 後援会会報第44号発行、発送 新入生歓迎パーティー	地区就職開拓 厚生補導 就職指導 インターシップガイダンス 「自己発見レポート」実施 学内企業合同説明会 (4/21・22)	全日本競歩輪島大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川) カヌースプリント海外派遣選手選考会
5	後援会役員会 (5/26) 後援会定期総会 (5/26) 特別企画・講演会「保護者のための就活セミナー」 福井地区懇談会 (5/26)	自己発見レポート活用ガイダンス	全国空手道選手権大会
6	地区懇談会 (17会場 (6/3～6/24)) 6月3日:石川、富山、福知山、東京 6月10日:新潟、静岡、愛知、和歌山 6月17日:長野、岐阜、滋賀、京都 6月24日:三重、大阪、兵庫、広島、四国	就職ガイダンス① (6/13)	全日本大学野球選手権記念大会 (野球・吹奏楽) 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (千葉) 全日本学生柔道優勝大会 都市景観プロジェクト「光竹」
7		就職ガイダンス② (7/11) 職業興味検査	日本学生陸上競技個人選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (東京) 全日本学生剣道選手権大会 全日本女子学生剣道選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (千葉)
8	海外語学研修 (イギリス グリンドウール大学)	業界研究セミナー (8/8、9) インターンシップ企業研修	小原 ECO プロジェクト・古民家修復活動 鳥人間コンテスト選手権大会 全日本学生カヌースプリント選手権大会 全日本学生ゴルフ選手権大会 全日本学生なぎなた選手権大会
9	後援会会報第45号発行、発送	就職支援機材 (テレビディスプレイ・DVD プレーヤー) 導入	全日本学生陸上競技対抗選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川) 全日本学生柔道体重別選手権大会 バレーボール総合男女選手権大会
10	保護者キャンパス見学会及び懇談会 後援会役員会 (10/7) 学園祭 「就活手帳2013」発行 (全3年生に配付) (10/17)	就職ガイダンス③ (10/17) 就職試験対策講座 キャリア形成支援講座 企業トップセミナー①② (10/24、31) 「就活手帳」発行	明治神宮野球大会東海・北陸・愛知大学連盟代表決定戦 全日本50km 競歩大会 全日本学生剣道優勝大会 朝日杯争奪日本学生ゴルフ大会
11		就職試験対策講座 (履歴書・自己PR 作成 11/7) 就職ガイダンス④ (11/14) インターンシップ体験報告会 就職試験対策講座 (コミュニケーションセミナー 11/17) (メイクアップ講座 11/21) (面接対策 11/28)	全日本50km 競歩大会 全日本男子なぎなた選手権大会 全日本学生カヌー長距離選手権大会 全日本学生馬術大会 全日本学生選抜陸上競技大会
12		地区別就職指導会 就職試験対策講座 (合同説明会の参加の仕方、マナー講座 12/5) 都市圏就職活動セミナー (12/15) 証明写真撮影会 (12/5、12)	全日本学生馬術選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川) 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学選手権大会
1		就職ガイダンス⑤ (1/16)	
2	海外語学研修 (オーストラリア サザンクロス大学)	学内企業合同説明会 (2/12～15)	日本学生ハーフマラソン選手権大会 全国バレーボールリーグ総合男女優勝大会 (千葉、愛知)
3	学位記授与式 (3/15)		全国バレーボールリーグ総合男女優勝大会 (東京)

平成24年度 収支決算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

【収入の部】

(単位 円)

項目	予算額	決算額	差引	備考
会費	13,125,000	12,885,000	△ 240,000	
会費	13,125,000	12,885,000	△ 240,000	@7,500×1,718名
雑収入	80,000	63,093	△ 16,907	御酒料・預金利息他
雑収入	80,000	63,093	△ 16,907	
繰越金	15,182,871	15,182,871	0	
前年度繰越金	15,182,871	15,182,871	0	
収入合計	28,387,871	28,130,964	△ 256,907	

【積立金会計】

(単位 円)

名称	前年度残高	今年度積立金	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	600,073	300,122	0	900,195	満期利息込

上記の収支決算について監査しました結果、適正であることを確認いたしました。

平成 25 年 5 月 8 日
福井工業大学後援会

福井工業大学 後援会 代表者 田中 義典

【支出の部】

福井工業大学後援会
(単位 円)

項目	予算額	決算額	差引	備考
会議費	600,000	550,990	△ 49,010	
会議費	600,000	550,990	△ 49,010	定期総会諸経費等
需要費	340,000	206,658	△ 133,342	
消耗品費	40,000	2,310	△ 37,690	事務用消耗品
通信費	100,000	78,820	△ 21,180	定期総会、役員会等案内発送
印刷費	200,000	125,528	△ 74,472	上記の案内、資料等印刷代
事業費	14,200,000	13,892,246	△ 307,754	
厚生補導費	400,000	241,112	△ 158,888	国際学会経別代、 新入生ガイダンスパーティ飲食費
クラブ活動費	7,000,000	7,968,558	968,558	大学祭補助費・地区活動費より予 算振替にて補填
英語留学支援費	500,000	220,000	△ 280,000	
就職支援費	1,500,000	1,325,800	△ 174,200	
地区活動費	3,000,000	2,454,866	△ 545,134	地区懇談会諸経費等、クラブ補助 費へ予算振替(40万)
創立記念積立金	300,000	300,000	0	創立70周年記念用積立金
会報発行費	1,500,000	1,381,910	△ 118,090	
慶弔費	200,000	53,723	△ 146,277	
慶弔費	200,000	53,723	△ 146,277	
旅費	800,000	720,000	△ 80,000	
旅費	800,000	720,000	△ 80,000	役員会・学位記授与式等旅費
大学祭補助費	700,000	0	△ 700,000	学友会予算内で支出
大学祭補助費	700,000	0	△ 700,000	クラブ補助費へ予算振替(70万)
繰越金	11,547,871	12,707,347	1,159,476	
次年度繰越金	11,547,871	12,707,347	1,159,476	
支出合計	28,387,871	28,130,964	△ 256,907	

平成25年度 事業報告

月	主要行事	就職活動支援	クラブ活動支援
4	入学式 (4/5) 後援会会報第46号発行 (4/15)	地区就職開拓 厚生補導 就職指導 インターンシップガイダンス 「自己発見レポート」実施 学内企業合同説明会 (4/23、24)	全日本競歩輪島大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川県) カヌースプリント海外派遣選手選考会
5	新入生歓迎パーティー (5/1) 後援会役員会 (5/25) 後援会定期総会 (5/25) 福井地区懇談会 (5/25)	自己発見レポート活用ガイダンス (5/8) 就職ガイダンス① (5/15)	全国空手道選手権大会
6	地区懇談会 (3会場) 6月2日:東海地区 (名古屋市) 6月9日:関西地区 (大阪市) 6月23日:北陸地区 (高岡市)	就職ガイダンス② (6/5)	全日本大学野球選手権記念大会 (野球・吹奏楽) 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (千葉) 全日本学生柔道優勝大会 全日本ホッケー選手権
7		就職ガイダンス③ (7/10) 職業興味検査 就活へのアドバイス (7/27)	日本学生陸上競技個人選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (東京) 全日本学生剣道選手権大会 全日本女子学生剣道選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (千葉)
8	海外語学研修 (オーストラリア サザンクロス大学)	業界研究セミナー (8/7、8) インターンシップ企業研修	小原 ECO プロジェクト・古民家修復活動 鳥人間コンテスト選手権大会 全日本学生カヌースプリント選手権大会 全日本学生ゴルフ選手権大会 全日本学生なぎなた選手権大会
9	後援会会報第47号発行 (中旬発行、下旬発送)		全日本学生陸上競技対抗選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川県) 全日本学生柔道体重別選手権大会 バレーボール総合男女選手権大会 全日本学生ホッケー選手権大会
10	保護者キャンパス見学会及び懇談会 (上旬) 後援会役員会 (上旬) 学園祭 (10/12～14) 「就活手帳2014」発行 (全3年生に配付)	就職ガイダンス④ (10/2) 就職試験対策講座① (SPI2・一般常識 10/16) 企業トップセミナー①② 「就活手帳」発行	明治神宮野球大会 全日本50km 競歩大会 全日本学生剣道優勝大会 朝日杯争奪日本学生ゴルフ大会
11		就職ガイダンス⑤ (11/13) インターンシップ体験報告会 就活にむけてのコミュニケーションセミナー (11/9) 就職試験対策講座②～⑤ (自己分析 11/5～8) (メイクアップ講座男性/女性編 11/16) (面接のためのボイストレーニング 11/20) (履歴書の書き方 11/25～29)	全日本50km 競歩大会 全日本男子なぎなた選手権大会 全日本学生カヌー長距離選手権大会 全日本学生馬術大会 全日本学生選抜陸上競技大会 全日本学生ホッケー選手権
12		地区別就職指導会 都市圏就職活動セミナー 証明写真撮影会 就職試験対策講座⑥ (合同企業説明会の参加の仕方、マナー講座 12/4)	全日本学生馬術選手権大会 日本学生陸上競技距離別グランプリシリーズ選手権大会 (神奈川県) 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学選手権大会
1		就職ガイダンス⑥ (1/15) 就職内定者フォローセミナー (1/31) 就職試験対策講座⑦ (面接対策セミナー 1/20～24)	
2		学内企業合同説明会 (2/4～7)	日本学生ハーフマラソン選手権大会 全国バレーボールリーグ総合男女優勝大会 (千葉、愛知)
3	学位記授与式 (3/15)		全国バレーボールリーグ総合男女優勝大会 (東京)

(後援会学生活動補助基準により補助金支出が予想されるもののみ記載)

平成25年度 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

【収入の部】

(単位 円)

項目	前年度予算額	予算額	差異	備考
会費	13,125,000	13,875,000	750,000	
会費	13,125,000	13,875,000	750,000	@7,500×1,850名
雑収入	80,000	70,000	△ 10,000	
雑収入	80,000	70,000	△ 10,000	預金利子、他
繰越金	15,182,871	12,707,347	△ 2,475,524	
前年度繰越金	15,182,871	12,707,347	△ 2,475,524	
収入合計	28,387,871	26,652,347	△ 1,735,524	

《積立金会計》

(単位 円)

名称	前年度残高	今年度積立金	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	900,195	300,000	0	1,200,195	

【支出の部】

福井工業大学後援会

(単位 円)

項目	前年度予算額	予算額	差異	備考
会議費	600,000	600,000	0	
会議費	600,000	600,000	0	
需要費	340,000	310,000	△ 30,000	
消耗品費	40,000	30,000	△ 10,000	
通信費	100,000	100,000	0	
印刷費	200,000	180,000	△ 20,000	
事業費	14,200,000	14,900,000	700,000	
厚生補導費	400,000	400,000	0	
クラブ活動費	7,000,000	8,000,000	1,000,000	ホッケー部新設
英語留学支援費	500,000	500,000	0	オーストラリア語学研修
就職支援費	1,500,000	1,500,000	0	キャリアセンター事業
地区活動費	3,000,000	2,800,000	△ 200,000	
創立記念積立金	300,000	300,000	0	
会報発行費	1,500,000	1,400,000	△ 100,000	
慶弔費	200,000	180,000	△ 20,000	
慶弔費	200,000	180,000	△ 20,000	
旅費	800,000	800,000	0	
旅費	800,000	800,000	0	
大学祭補助費	700,000	700,000	0	
大学祭補助費	700,000	700,000	0	
予備費	11,547,871	9,162,347	△ 2,385,524	
予備費	11,547,871	9,162,347	△ 2,385,524	
支出合計	28,387,871	26,652,347	△ 1,735,524	

平成二十五年度

地区懇談会を終えて

地区懇談会に多数の参加を頂き、ありがとうございました。

本年度の地区懇談会は、五月二十五日の福井会場を皮切りに、六月二日に東海地区会場（名古屋市）、九日に関西地区会場（大阪市）、二十三日に北陸地区会場（高岡市）にて保護者懇談会を実施いたしました。昨年度の保護者、及び後援会役員の意見を参考にし



まして、今年度は地方の会場を集約し、その代わりに、一つの会場ごとの参加者の増加、実施内容を充実させる目的の中、午前は本学の教育内容や学生生活の説明、就職・資格の支援体制の紹介、本学同窓会の活動報告を行い、昼食の懇親会を是と、午後より個別面談を行うスケジュールとなりました。

懇親会（昼食）は初の試みでありましたが、参加者は教職員との話し合いだけでなく、同じ境遇の保護者との情報交換やまた本学同窓生との会話により親交を深めることが出来た、などと大変好評でした。

個人面談においては、所属学科の教員と大学での授業出席などを含めた生活の状況、資格取得や就職等多

岐にわたる内容について有意義な懇談の場がもたれました。

日曜日開催にもかかわらずご出席いただいた大学の教員の先生方、本学同窓会の支部長・役員様、後援会役員の皆様には大変お世話になりました。

この場をお借りしまして御礼申し上げます。

また、多くの保護者にご参加頂き、また貴重なご意見も頂戴いただき、本当にありがとうございました。

今後より一層、多くの保護者が来場、満足いただけるような充実した内容を考えて参りたいと考えております。

尚、ご回答いただいたアンケートの集計などについて、次ページにご紹介いたします。



当日のスケジュール（地方会場）

10:00～	開会 ・本学代表者挨拶 ・本学の教育体制説明（全体説明） ・同窓会代表者活動報告、～本学を卒業して～ 自身の大学時代の話も交えて、本学の誇れるところ、卒業して学んだ事をお話頂きました。
12:00～	懇親会 学科ごとにテーブルに別れ、学科教員や職員と懇談を実施しました。
13:00～	個人面談 ・学科担当教員との個人面談 ・就職・資格についての個別相談（事務局就職支援課） （個人面談終了者からご退席）
15:00	閉会

平成25年度 地区懇談会 参加者数（当日ご出席分）

会場	実施日	合計	前年度	備考	
本学	福井	5月25日	110	98	
	高岡	6月23日	27	27	※H24年度 富山市で開催
地方会場	名古屋	6月2日	12	4	
	大阪	6月9日	30	11	
	他会場			81	※H24年度 上記以外に14会場
合計		179	221		

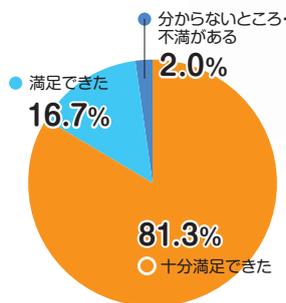
地方会場の1会場あたりの参加者数

年度	会場数	参加者	1会場あたり参加者数
平成24年度	17会場	123名	7.2名
平成25年度	3会場	69名	23.0名

※当日、連絡なしに欠席される保護者の方がおられました。個人面談等の都合上、連絡をいただきますよう宜しくお願いします。

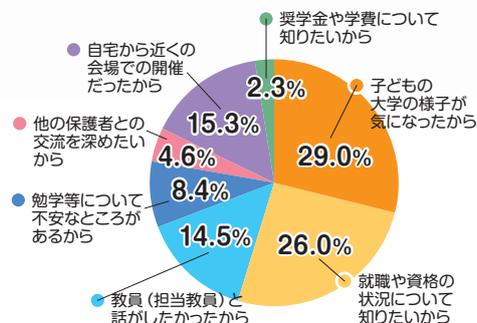
保護者アンケート (たくさんのご回答ありがとうございました)

Q 今回の地区懇談会について

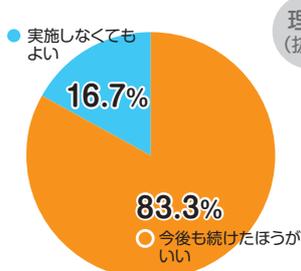


非常に多くの保護者様より、良い評価をいただきました。
中には、「このような内容ならもっと早くから参加すればよかった」「他の保護者様にもぜひ知ってほしい」等のお声もありました。
大学生活やご息様の近況を詳しく聞くことができます。
次回以降の皆様の参加をお待ちしております。

Q 地区懇談会に参加を決めた理由



Q 今年度より昼食を兼ねて大学側・保護者との懇親会を実施しました (地方会場のみ)



理由 (抜粋)

- ・こういう会があれば子どものいろんな事が聞けて安心できる。
- ・大学の教職員の方々と直に話せた事が良かった。
- ・就活の話を知りやすくてもらえてよかった。少し希望が持てた。
- ・交流の場があって良いと思うが参加しづらい面もある。
- ・昼食の雰囲気の中、先生や他の保護者の方と会話できたのが良かった。
- ・ゆっくり話が聞ける。
- ・思っていたより話が弾んだ。次回も是非行ってほしい。

- ・少人数で同じ学科の保護者や学科の先生とお話できてよかった。
- ・個別面談と異なる話が出来、保護者同士情報を共有できる。
- ・先生との話し合いだけで良い。
- ・経費がもったいない様な。喫茶位まででいいのではないかな。
- ・時間的に余裕がない。初めて会った方と昼食をとっても…

初の試みに様々なご意見を頂戴しました。次年度はより充実した内容となるよう検討いたします。

Q 教員との個別懇談について

ご意見 (抜粋)

- ・担当教員の方が熱心で安心した。
- ・大学での子どもの様子が聞けて良かった。直接先生と話ができて良かった。
- ・本人と一緒にできる機会があれば良いと思う。
- ・卒業研究のテーマを知らせてもらい安心した。
- ・大学において子どもの状況が分かった。また、今後の就職の予定が理解できた。
- ・思っていた以上に学校の様子が分かって良かった。
- ・子どもを充分観察・分析してもらっていた。将来の進むべき道にも沿って具体的なアドバイスをもらえて大変良かった。
- ・教員の方の思い(考え)や自分の思いなどを話せたので参加してよかったと思う。
- ・講義の実際の出欠、授業態度等知ることができてよかった。
- ・大学での子どもの様子を知ることができたのと、今後のアドバイスも頂くことができた。
- ・兄の通う大学では考えられない熱心な対応に驚いた。今後も参加する。

Q 本学への意見、要望・ご感想、また今後の懇談会のプログラムの要望

【本学会場】

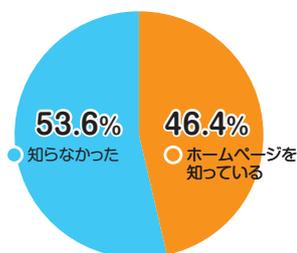
- ・学生の授業や活動の様子を映像で観てみたい。
- ・機会があればまた参加したい。
- ・本人と一緒に懇談できる三者面談もあれば良いと思う。
- ・キャリアセンターの方々には益々学生のために尽力してほしい。

【地方会場】

- ・もっと多くの方に出席してもらいたいと思う。このような機会はなかなか持つことができないので。
- ・先生との話ができてよかったと思う。就職活動が厳しい中、就職率がよく期待している。
- ・奨学金についてももっと詳しく教えてほしい。
- ・自宅近くの開催で助かった/自宅の近くで開催してほしい
- ・会場は分かりやすい(アクセスの良い)場所がいい
- ・大学としては異例の担当教員制があり、年に1回は個別懇談会があることが大変嬉しい。
- ・今回学科ごとのテーブルだったので他の保護者の方とも共感をもって話げたのもよかった。
- ・なかなか学校の方へ行けないので色々なことが聞けた。
- ・市民塾を併せて開いてほしい。例えばホームページの作り方とか教えてもらいたい。

保護者の貴重なご意見を少しでも反映することが出来るよう、次回以降、内容をより充実して参ります。

Q 本学ホームページに後援会のページがあります。ご存じでしたか？



後援会報にも後援会のホームページの周知をするなどし、情報交換の場となればと考えています。



保護者

の特集

のための就職活動セミナー

平成25年5月25日 後援会定期総会（福井工業大学キャンパス）
 平成25年6月2日 東海地区懇談会（名古屋ガーデンパレス）
 平成25年6月9日 関西地区懇談会（大阪ガーデンパレス）
 平成25年6月23日 北陸地区懇談会（高岡地域地場産業センター）
 講師／キャリアセンター就職支援課長 天谷幸雄
 演題／「福井工業大学における就職支援の現状と最近の就職事情」から抜粋

01 キャリア教育と就職支援の充実

1年生から3年生まで

「キャリア形成科目」を効率よく、機動的に実施！

本学では、キャリア教育の充実に全力を挙げて取り組んでいます。
 1年生においては、一人の教員が10名前後の学生に行う授業「FTH」(Free Talking Hour)や「コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ」、「日本語の基礎」、2年生では、県内政財界の著名人を講師に迎える「地域共生学」や「日本語表現法」、平成25年度よりスタートした「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」、

3年生になってからは、より専門性を重視した「FTH」と「インターンシップ」の実施、というように複数のキャリア形成科目を効率よく、機動的に実施しています。
 また、資格取得を希望する学生に対しては、学内において「特別講座」を開講し、合格に向けての支援も行っています。毎年、難関な資格にチャレンジし、見事合格した学生もおります。

教職員が一体となって

就職支援を実施！

一方、就職活動に対する支援として、1年生の「自己発見レポート」や2年生の「業界研究セミナー」、本格的な就職活動を1年後に控えた3年生には「就職ガイダンス(6回)」や「就職試験対策講座(7回)」、数多くの「セミナー」、「学内企業合同説明会」を実施しています。

当然のことながら4年生に対しては、一日でも早く企業からの内々定が得られるよう、教職員が一体となって、しっかりとした個別指導など就職支援を行っております。

平成25年3月卒業者の

就職率は97.9%！

本学では、このようにキャリア教育と就職支援を連動させ、充実を図っています。

その結果、最近3年間の就職率は、平成22年度（平成23年3月）卒業者95.2%、平成23年度（平成24年3月）卒業者97.3%、平成24年度（平成25年3月）卒業者97.9%と、高い就職実績を誇っています。各県別の就職状況も、高い就職率になっています。

教職一体となった就職支援

1年生	2年生	3年生	4年生
新入生キャリアガイダンス 自己発見レポート 特別講座開講説明	業界研究セミナー 企業人材養成講座 インターンシップ体験	就職ガイダンス(6回) 進路希望調査・個別指導 就職試験対策講座(7回) インターンシップ概論 就活手帳の配布 職業興味検査 企業トップセミナー(2回) 都市圏就活セミナー 証明写真撮影 学内企業合同説明会	学内企業合同説明会 個別企業説明会 個別指導 就職内定者 フォローセミナー

資料関係



キャリアガイダンス



毎年2月に開催される学内企業合同説明会

02 最新の就職事情

就職活動解禁

3ヶ月繰り下げの動き

いま、マスコミなどで話題になっている「大学生の就職活動の解禁時期を、現行より3ヶ月繰り下げて大学3年生の3月とする」という動きについて説明します。

政府が経団連など経済界に要請した内容は、2016年に卒業を予定する現在の大学2年生から適用されるものです。

03 キャリアセンターの行事計画

平成25年10月以降の就職支援行事を紹介します。

月	日	曜	対象	行事内容
10	2	水	3年生	就職ガイダンス4 「就職活動の進め方」
	16	水	3年生	就職試験対策講座1 「SPI2・一般常識対策」
	19	土	3年生・2年生	インターンシップ体験発表会
	23	水	3年生	企業トップセミナー1
	30	水	3年生	企業トップセミナー2
11	3	日	3年生	インターンシップ報告会
	5~8	火~金	3年生	就職試験対策講座2 「自己分析」
	6	水	3年生	就職試験対策講座3 「メイクアップ講座(男性編・女性編)」
	13	水	3年生	就職ガイダンス5 「就職活動へのアドバイス」
	16	土	3年生	就活にむけての コミュニケーションセミナー
	20	水	3年生	就職試験対策講座4 「面接のためのヴォイストレーニング」
	25~29	月~金	3年生	就職試験対策講座5 「履歴書の書き方」
	27	水	3年生	証明写真撮影会 (12月4日にも実施)
12	2~	月~	3年生	個別指導(EC・履歴書添削、 模擬面接)／個別企業説明会
	4	水	3年生	就職試験対策講座6 「合同企業説明会の参加の仕方」
	14	土	3年生	都市圏就職活動セミナー (大阪)
1	8	水	3年生	就職ガイダンス6 「学内企業合同説明会の詳細説明」
	20~24	月~金	3年生	就職試験対策講座7 「面接対策セミナー」
	24	金	4年生	就職内定者フォローセミナー
	29~2/1	水~土	3年生	学内企業合同説明会

具体的には、3年生に対する広報活動の開始時期が現行の12月から翌年の3月に、4年生に対する採用選考活動の開始時期が現行の4月から8月にそれぞれ繰り下がります。

学業への専念を意図とした今回の要請でありますので、今後の経済界等の動向を注視してまいります。

学生に不安と混乱が生じないよう、きめ細かく丁寧な対応を！

本学においては、こうした新たな動きに対して、次のような対策を講じます。

1 学生に不安と混乱が生じないよう、きめ細かく丁寧な対応に心掛けま

2 FTH、キャリアデザイン、インターンシップなどキャリア教育・職業教育の充実に努めます。

3 地域産業界のニーズを踏まえたカリキュラムを検討します。

4 企業・業界研究の早期な取り組みを徹底します。

5 OB・OG等のリクルーターとしての支援を要請します。

政府要請に基づく倫理憲章の見直し

	広報活動の開始時期	採用選考活動の開始時期	内定解禁
4年生	平成24年12月 1日	平成25年 4月 1日	平成25年10月 1日
3年生	平成25年12月 1日	平成26年 4月 1日	平成26年10月 1日
2年生	平成27年 3月 1日	平成27年 8月 1日	平成27年10月 1日
1年生	平成28年 3月 1日	平成28年 8月 1日	平成28年10月 1日

高い就職実績

(単位：社・人・%)

【工学部 3月卒】	H25.3卒	H24.3卒	H23.3卒	H22.3卒	H21.3卒
①求人受理企業件数	2,127	2,029	2,118	2,595	3,635
②卒業者数	315	296	371	431	567
③就職希望者数	281	263	336	377	521
④就職者数	275	256	320	332	503
⑤うち公務員	9	2	7	7	13
⑥就職率(④/③)	97.9	97.3	95.2	88.1	96.5
⑦進学者数(大学院)	22	18	20	34	32

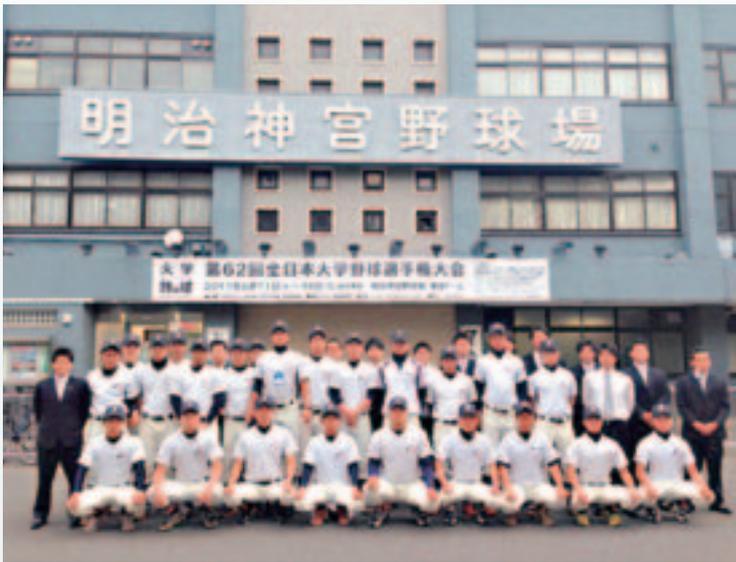
※工学部：各年次5月1日現在

羽ばたく学生たち

1 硬式野球部 大学野球選手権出場

平成二十五年六月十一日(火)から神宮球場・東京ドームにて開催された第六十二回全日本大学野球選手権大会に三年連続三十六回目の出場をしました。皆さまからは心温まる声援を賜り、誠にありがとうございました。

大会におきましては、一回戦を開幕の神宮球場で関甲新大学連盟代表の上武大学と対戦し、1-8の敗戦を喫しました。チームとしましては目標を達成することができず、初戦敗退と不本意な結果に終わりました。



しかしながら、学生は最後まで諦めずプレイし、スタンドでは大勢の野球部員と本学OBの方々、保護者の方々が一体となって応援していただき、大変意義深い大会となりました。この経験を活かし、更なるレベルアップを目指して取り組んで行くとともに、併せて学生野球の根底にある人間力を高めていきたいと思っています。今後とも一層のご支援とご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

2 ロボカップ世界大会

二〇五〇年、自律型二足歩行ロボットのサッカーチームがサッカーW杯の優勝国チームに勝つ！ことを目指したロボット工学と人工知能科学の「ロボカップ」世界大会は、オランダ・アイントホーフフェンで六月下旬から一週間、約四十カ国・二五〇〇人以上の出場者と約四〇、〇〇〇人の来場者で盛大に開催されました。「三次元シミュレーションリーグ部門」(自律型ロボットの対戦をコンピュータ上のサッカーフィールドで実行)に五年連続出場となった本学経営情報学科の学生チーム「FUTURE」(芝田稔君・四年、石高将斗君・三年、藤井達也君・三年)は、今年五月の日本大会で準優勝し、この世界大会に挑みましたが、第二ラウンドで敗退(ベスト十六)、まだまだ強豪チームに対し、プログラムの完成度が足りないことを感じる結果となりました。

大会参加前は、今年度から本学に開設された「インターナショナルセンター」にて外国人教員との英会話特訓を行い、大会中はサッカーロボットの基本動作の情報交換など、外国チームとの技術交流を積極的に行うことができました。一週間のオランダ滞在はプログラム技術だけでなく、語学やコミュニケーションの重要さなど今後につながる貴重な体験ができました。



3 鳥人間コンテスト

福井工業大学鳥人間プロジェクトは、七月二十七日に行われた第三十六回鳥人間コンテスト2013に出場しました。今年出場した機体は昨年の反省を踏まえ、翼型と呼ばれる翼の断面形状の変更や、機体の上下の動きを制御するエレベータを取り付けるなど、さまざまな改造を行いました。特にエレベータは、製作時にモーターが破損するなど、多くの問題が起き苦労しましたが、製作メンバーの努力や先生方の協力によって完成することができました。

機体が期日までに完成し、無事大会へ参加することができましたが、ここでもまた問題が発生、本番前日の機体審査時に機体の不備を指摘されました。審査に合格しないと本番で飛べないため急いで改修を行いました。途中で大雨が降るなどして改修が進まず、夜遅くまで作業を行いました。苦労の末、本番当日の朝に審査が合格し、「ここまで苦労したのだから絶対に目標の100メートルは飛びたい」という気持ちが一層と強くなりました。

長い待ち時間を経て自分たちのフライト順番になり、ついに機体が飛び立ちました。飛び立った瞬間、機体が急に降下したため、一瞬墜落するのでは



と思いましたが、その後、エレベータによる機体制御や降下で得た加速で順調に飛行しました。そして飛行結果は、目標の記録を越え、134.41メートルでした。飛行結果が表示された瞬間、メンバー達は感動に満ち溢れていました。

100メートル以上の記録を達成したものの、機体にはまだまだ改良すべき点がたくさんあります。新たな目標である200メートル越えを目指すため、これからもメンバー一丸となって頑張っていきたいと思っています。

4 小原ECCOプロジェクト

古民家修復活動

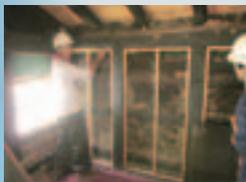
八年目を迎えた小原ECCOプロジェクト。古民家修復活動は、夏季休暇中の八月七日から三十一日までの計二十四日間にわたって実施されました。この活動は、学生たちが住民二人という、廃村の危機が迫っている福井県勝山市北谷町小原（おはら）集落の再生・活性化を目指して、集落内に泊まり込みながら、古民家修復や景観整備を行っているものです。

本年度は昨年度と同様に、古民家修復活動に加え、お盆の八月十三日（火）に学生が企画・運営した「第二回 小原篝火（かがりび）祭」を開催し、二〇〇基の手作り灯笼と十二基の篝火で小原集落をライトアップしました。旧小学校跡地には能舞台を造り、地区に伝わる芸能の披露とともに宝生流榮雲会の皆さんによる能舞を上演、約七十名の来場者は、幻想的な一夜を堪能していました。

古民家修復作業は、道場家住宅の内部整備と岸下家住宅の瓦屋根の葺替えを行いました。炎天下の中、学生たちは大工棟梁や瓦職人のご指導のもと、悪戦苦闘しながらも楽しみながら作業にあたりま



岸下家住宅の垂木のレベル調整の様子



道場誓家住宅の板壁の下地取り付けの様子



【第二回 小原篝火祭】での能舞(能楽宝生流榮雲会)

した。

今年度の活動には、合計十八名の学生が作業に従事し、連日の猛暑にもめげず、朝八時から夕方六時まで実際の建物に触れながら大学内の講義や実習では得難い貴重な実体験をしました。さらに、合宿生活を通して、協調性や自主性、礼儀作法、メモの習慣などを身に付けるなど、有意義かつ充実した約一ヶ月間を送りました。

■ FUT福井城郭研究所

FUT Fukui Castle and Castle Town Research Laboratory

4月に日本の近世城郭や城下町と、まちづくりを総合的に研究する「FUT福井城郭研究所」が本学図書館内に設置され、5月23日に施設完成の記者発表が行われました。大学内に城郭の研究所が設立されるのは全国で初めてで、研究の成果を県や福井市のまちづくりに役立てていく方針です。



設立目的

- ①日本近世城郭・城下町に関わる調査研究やまちづくり研究の拠点として全国へ発信する。
- ②今日の福井市の都市基盤でもある福井城とその城下町や大野、勝山、丸岡、鯖江、小浜など県内の城郭と城下町、ならびに全国各地の城郭・城下町を対象として、それら固有の特質や特徴を解明する。
- ③「県都デザイン戦略」が提唱する「福井城址公園」などの福井市のまちづくりに関わる重要な手がかり、手法を提示し、福井県や福井市と連携をしながら今後のまちづくりに寄与する。



活動事業

- ①文献資料の蒐集^{しゅうしゅう}:福井城、福井城下町および日本の近世城郭や城下町に関する文献史料、研究図書などの蒐集と整理
- ②城郭、城下町に関わる調査研究
- ③研究年報・報告書、論文集などの刊行
- ④講演会やシンポジウム、展覧会などの開催
- ⑤福井のまちづくりに対する提言や実践
- ⑥その他

図書館開館中は随時見学可能となっています。ぜひお越しください。

Facilities 2

■ 図書館

FUT Library



4月から、図書館の開館時間が平日は22時、土曜日は17時30分までとなり、これまでより平日は2時間、土曜日は1時間それぞれ延長されました。平日はほぼ毎日、閉館の22時まで数名の学生が図書館で学習している姿が見られます。

開館時間延長以外にも、図書館では学生の利用者増加を図るための企画を立案し、そのいくつかを試行しています。そのひとつが「図書館キャンペーン」で、これは参加者に図書の出借や放課後の来館に対してポイントを与え、一定のポイントに達した者に

は図書券を贈呈するというものです。好評を博し、多くの学生からの参加申込を受けています。

館内に一昨年開設したラーニング commons はグループでの学習スペースとして定着し、年々利用者が増加しています。今後も館内施設を使いやすく整備し、利用者第一のサービスで、「利用したくなる図書館」であるよう努めて参ります。



TOPICS



5月18日(土)～19日(日)の二日間のわたり平成25年度福井工業大学五月祭を開催致しました。

一日目は、カールマイヤーグラウンドにて新入生全員参加による体育祭(運動会)を行いました。8チームに分かれ9つの競技で得点を競い合い、去年に引き続き産業ビジネス学科が優勝する結果となりました。学科内の学生間の交流に加えて1年生同士が学科の枠を越えて交流を深める事ができ、大変盛り上がりを見せた体育祭となりました。

二日目は、ラブリーパートナーエルバ2階エルパホールにて文芸祭を行いました。文化芸術部会の各クラブが、展示及び体験ブースを設置し、普段の活動を地域の方々に披露するとともに学友会主導で科学実験やビンゴ大会を行い、来場者の方々と交流を深めることができました。

五月祭
(5月18日～19日)



新入生 全体パーティー



5月1日(水)に、金井講堂にて平成25年度福井工業大学新入生543名を対象に学友会が主導となり立食形式のパーティーを開催致しました。会に先立ち、森島洋太郎学長より「大学4年間という貴重な時間を勉学や課外活動を積極的に取り組み、仲間とかけがいのない人間関係を築き、自らの夢を大きく育ててもらいたい。4年間は長いようで、終わってしまえば一瞬。何事にもひたむきな努力を惜しむことなく、有意義で充実した学園生活送ってほしい。」と新入生を激励される挨拶がありました。その後の懇談では、学科ごとのテーブルでは、学生と教員が交流深めたり、学科を越えて学生が交流を深めたりする活発な姿が見受けられました。パーティーの最後にビンゴゲームが行われ、番号が発表される度に会場から歓声があがり、例年にない盛り上がりを見せた新入生全体パーティーとなりました。



保護者キャンパス見学会 及び懇談会開催について



ご子息・ご息女の勉学の場や課外活動の練習施設等を見学しませんか？
保護者相互・教職員との親睦・交流の場として、懇談会も開催いたします。
学修状況、就職、学生生活等についてお気軽にご相談下さい。
多数のご出席をお待ちしております。

拝啓 時下、ますますご清栄にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
平素は、本学の教育に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、ご子息・ご息女の通われる大学についてより良く知っていただくため、「保護者キャンパス見学会及び懇談会」を本年も大学祭期間中に開催することになりました。
私どもは、より充実した教育や研究を推進するため多くの整備された研究設備や実験室を設置し、また、FUTタワーは授業や就職支援・学習支援・学生生活支援等の拠点として稼動しています。ご子息・ご息女がどのようなところでどのようにして学んでいるのかをご覧いただきたく、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。
なお、当日は個別面談等も予定しておりますので、先般6月に開催しました地区懇談会にご都合等により参加できなかった保護者の方は、是非ともこの機会にご参加いただきたく重ねてご案内申し上げます。 敬 具

平成25年9月 福井工業大学 学長 森島 洋太郎 福井工業大学後援会 会長 谷川 博也

当日は大学祭の期間中です。本学学生の活気溢れる姿をご覧ください。

10/12 土
[12:00~16:00]

受付時間は12:00~13:00です。
必ずこの時間内に受付をお済ませ下さい。

12:00~13:00	受付 見学会、懇談会の順番受付
	昼食 学園レストランにて(当日食事券をお渡しいたします)
13:00~16:00	見学会 学園施設、大学施設・装置設備等のご見学 懇談会 学業、就職、学生生活、大学院進学、カウンセリング等に関するご相談

参加予定及び個人面談をご希望の方は、準備の都合等がありますので、**9月30日(月)まで**に右記にご連絡くださいますようお願いいたします。

【お申込み・連絡先】
福井工業大学 庶務課
TEL.0776-29-7864 FAX.0776-29-7891
E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp

福井工業大学後援会規約

- 【第1章 名称及び目的】**
第1条 1本会は、学校法人金井学園福井工業大学後援会と称する。
2事務所は、福井工業大学事務局に置く。
3本会は、福井工業大学の繁栄を期し、会員相互の連絡親睦を図ることを目的とする。
- 【第2章 目的】**
第3条 本会は、その目的を達成するために次のことを行う。
(1)大学の運営に寄与する事項
(2)学生の福利厚生増進に寄与する事項
(3)会員相互の連絡親睦を図る事項
(4)その他、会目的に必要な事項
- 【第3章 役員】**
第4条 本会の役員は、正会員、賛助会員とする。正会員は、福井工業大学に在学する学生の親又は親族とする。賛助会員は、本会の趣旨に賛同する者とする。
- 【第4章 役員及び顧問】**
第5条 1本会に、次の役員を置く。
(1)会長 1名
(2)副会長 2名
(3)理事 若干名
(4)監事 2名
2 役員の任期は、1年とし再任を妨げない。
3 会長、副会長、監事及び理事の選出は、役員会で選考し、総会において決定する。
4 賛助会員は、役員会において必要に応じて選考し、会長がこれを任命する。
5 顧問は会長が、学識経験者又は在学生の親若しくは親族が公職等にある者に委嘱する。
6 1会長は、本会を代表して会務を総括する。
7 2副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
8 3監事は、会計を監査して総会に報告する。
9 4理事は、会長の命を受け会務を処理する。
- 【第5章 総会及び役員会】**
第9条 1 定例総会は、毎年1回行う。会長が必要と認めるときは、臨時総会を開くことができる。
2 総会の議長は、会長がこれに当たる。
3 役員会は、会長がこれを招集する。
4 総会は、会員総数の3分の1以上の出席をもって成立する。
5 総会の決議は、出席会員の過半数をもって成立する。
6 総会の審議事項は次のとおりとする。
(1) 役員の承認
(2) 決算承認
(3) 予算審議
(4) 事業報告
- 【第6章 会費】**
第10条 1 本会の経費は、会費及び寄付金をもって充てる。
(会費については、別に定める)
2 会計年度は毎年4月に始まり翌年3月に終わる。
- 附則
この規約は、昭和43年5月16日から施行する。
平成7年5月22日改正
平成19年5月26日改正

2014年度 工学部入試概要

●入試日程

試験区分	専願/併願	出願期間(締切日消印有効)	試験日
AO入試	専願	◆エントリー H25. 8. 1 (木)～ 8. 30 (金) ◆面談日 H25. 9. 7 (土) ◆出願期間 H25. 9. 9 (月)～ 9. 13 (金)	H25. 9. 21 (土)
スポーツ・吹奏楽推薦入試	前期	H25. 9. 17 (火)～10. 1 (火)	H25. 10. 9 (水)
	後期		
女子学生特別推薦入試	専願	H25. 9. 30 (月)～10. 18 (金)	H25. 10. 26 (土)
専門高校・総合学科推薦入試	前期	H25. 9. 30 (月)～10. 18 (金)	H25. 10. 26 (土)
	後期		
自己推薦入試	前期	H25. 9. 30 (月)～10. 18 (金)	H25. 10. 26 (土)
	後期		
ポートフォリオ推薦入試	併願	H25. 9. 2 (月)～ 9. 13 (金)	H25. 9. 21 (土)
センター試験利用入試	前期	H26. 1. 6 (月)～ 1. 29 (水)	本学独自の個別試験は課しません。
	中期	H26. 1. 30 (木)～ 2. 14 (金)	
	後期	H26. 2. 17 (月)～ 3. 24 (月)	
一般入試	前期①日程	H26. 1. 6 (月)～ 1. 23 (木)	H26. 1. 29 (水)
	前期②日程		H26. 1. 30 (木)
	中期		H26. 1. 27 (月)～ 2. 14 (金)
	後期		H26. 2. 17 (月)～ 3. 5 (水)
編入学試験	前期	H25. 9. 2 (月)～ 9. 11 (水)	H25. 9. 21 (土)
編入学試験	後期	H26. 1. 27 (月)～ 2. 7 (金)	H26. 2. 18 (火)
社会人入試		H26. 1. 6 (月)～ 1. 21 (火)	H26. 1. 30 (木)

※持参の場合は出願締切日翌日15時まで受付

※入試概要の詳細につきましては、入試課(0120-291-780)までお問い合わせ下さい。

●募集定員

学科	募集定員	学科	募集定員
電気電子情報工学科	80	経営情報学科	65
機械工学科	100	産業ビジネス学科	60
建築生活環境学科	65	環境生命化学科	45
デザイン学科	60	原子力技術応用工学科	25

●特待合格制度

本学では特待合格制度を設けており、次の試験区分の合格者のうち対象者は入学金(25万円)が免除されます。
 ・「スポーツ・吹奏楽推薦入試」合格者のうち全国大会出場者(対象大会あり)
 ・「女子学生特別推薦入試」合格者
 ・「ポートフォリオ推薦入試」合格者

●推薦選抜奨学金

- ①対象入試 自己推薦入試前期の志願者、専門高校・総合学科推薦入試前期の志願者で希望者
- ②内容 年間授業料半額減免(原則4年間)
※ただし、毎年度末に学業成績による継続審査あり
- ③選考日 平成25年10月26日(土)
- ④選考 工学適性検査(推薦選抜奨学生選考試験)を100点満点中70点以上の成績者より選考
- ⑤採用人数 工学適性検査70点以上の成績者全員

●一般選抜奨学金

- ①対象入試 一般入試前期、センター試験利用入試前期
- ②内容 第1種：入学金全額と入学年度年間授業料全額を免除(原則4年間)
第2種：入学金全額と入学年度年間学納金半額を減免(原則4年間)
※ただし、第1種・第2種とも毎年度末に学業成績による継続審査あり
- ③選考 一般入試前期、センター試験利用入試前期の入試成績上位者より選考(試験区分ごとに)
第1種：3名を採用
第2種：第1種採用者を除き15名を採用
- ④採用人数

●資格取得者特別奨学金

専門高校・総合学科推薦入試または自己推薦入試合格者のうち、本学が定める資格を平成26年3月末日までに取得し、入学後に資格の取得を証明できる書類を添付して申請した者に、入学金相当額(25万円)を還付。ただし、平成26年4月末日までの申請が必要。
 ※推薦選抜奨学金採用者に選考された方は資格取得者特別奨学金を併用不可。

福井工業大学 奨学金制度

給費奨学金

■特待生奨学金

授業料50%減免

- 対象：工学部2年次以上、大学院博士前期課程
- 条件：工学部・大学院 前学期までの成績 GPA 評価3.8以上
※博士課程前期1年生は工学部の成績
- 推薦期間：前期・後期(年2回半期ごと)

■準特待生奨学金

授業料20%減免

- 対象：工学部2年次以上、大学院博士前期課程
- 条件：大学院 前学期までの成績 GPA 評価 3.5以上
※博士課程前期1年生は工学部の成績
- 推薦期間：前期・後期(年2回半期ごと)

■育英奨学金(該当年度適用)

学納金50%減免

- 対象：工学部2年次以上、大学院全学年
- 条件：経済的理由で修学に困難がある学生
保護者の年収400万円以下又は、申請時現在月の月収20万円以下
工学部・大学院 前学期までの成績 GPA 評価3.0以上
ただし、修士課程1年生前期は工学部の成績、博士後期課程は博士前期課程の成績

■学生生活奨学金(該当年度適用)

月3万円支給

- 対象：工学部2年次以上、大学院全学年
- 条件：保護者の年収400万円以下又は、申請時現在月の月収20万円以下

工学部・大学院 前学期までの成績 GPA 評価2.8以上
 ただし、修士課程1年生前期は工学部の成績、博士後期課程は博士前期課程の成績

■スポーツ特待生奨学金

- 所属するクラブ活動において高校時及び本学在学中に優秀な大会成績を修めた学生を対象として学納金及び授業料、入学金が免除又は減免されます。
 ●対象：スポーツ推薦入試による入学予定者及び工学部、大学院全学年
 ●期間：原則4年間。ただし毎年度末に継続審査有。

■災害特別奨学金(該当年度適用)

- 在学生および本学に入学予定の者で、自然災害等により人的または物的被害を受けた者は、状況により学納金、入学金、入学検定料の全額または一部を減免もしくは災害援助金を支給するものです。
 ●対象：入学予定者及び工学部、大学院全学年

■兄弟学費減免奨学金

(該当年度適用、年度毎の申請要)

- 学納金50%減免
 ●対象：本学園に兄弟(姉妹含む)で在籍している最年少にあたる学生
 ●条件：本学園に兄弟(姉妹含む)で在籍していること

■特別奨励金

- 本学指定の資格を取得した場合、又はクラブ等の大会で優秀な成果を修めた場合には奨励金を支給します。
 ●対象：工学部、大学院全学年

■私費外国人留学生奨学金

私費外国人留学生入試での入学予定者(「留学」の在留資格を有する者)もしくは本学に在籍する私費外国人留学生の初年度納入金について、経済的理由により修学が困難であり、本学での学習意欲を持つ者に対し選考により、本学入学金および学納金の総額と国立大学標準額(入学金および学納金の総額)との差額を減免します。(大学院生は学納金のみ減免)
 毎年度末に学業成績等による継続審査を行い、継続条件を満たすことにより、次年度以降も本学学納金と国立大学標準額(学納金)との差額を減免します。

■私費外国人留学生生活奨学金

私費外国人留学生入試で入学した工学部1年後期以上及び大学院の全学年(他大学・社会人からの入学生は2年次から適用)を対象に前学期までの成績優秀者を奨学生として採用し、月額3万円の奨学金を給費します。(該当年度適用。前期なら通年・後期なら後期のみ)

※その他、学外奨学金制度(日本学生支援機構奨学金制度、各自治体奨学金制度など)もあります。

奨学金制度の詳細は、
福井工業大学学務課
(0776-29-7867)まで
お問い合わせください。

後援会ホームページのご案内

1 本学ホームページより「保護者の方へ」をクリック。

後援会

後援会トップページ画面

2 「後援会」をクリックする。

3 後援会ページにて最新の情報をご案内しております。また、後援会報のバックナンバーもご覧頂けます。

福井工業大学
Fukui University of Technology

お問合せ

福井工業大学
後援会
Supporters Association for
Fukui University of Technology

Menu

- トップページ Top page
- 概要 About
- 規約 Regulation
- 総会・保護者懇談会 General meeting, Dealing
- 後援会会報 Report
- プライバシーポリシー

トピックス & ニュース Topics & News

- 2013年8月18日 後援会定期総会・地区懇談会に多数の参加を頂き、ありがとうございました。
- 2013年4月14日 後援会定期総会・講演会及び地区懇談会開催について
- 2012年8月14日 保護者キャンパス見学会及び懇談会開催について
- 2012年4月14日 後援会定期総会・講演会及び地区懇談会開催について
- 2011年8月18日 保護者キャンパス見学会及び懇談会開催について
- 2011年8月1日 後援会のサイトを開設しました。

学校法人全学学園 福井工業大学 〒910-8505 福井県福井市学園1丁目9番1号 TEL 0776-29-2600(代表)
© Copyright Fukui University of Technology, 2011 All Rights Reserved.

